



令和3年度 多治見中学校 合唱祭

11月22日



11月22日(月)、バロー文化ホールにて、合唱祭を無事終えることができました。合唱祭スローガン『心を込める ～「もっと」という願いをもち、自分たちの納得のいくまで求め合う合唱～』

今年度は、感染症予防対策で「マスク着用」でのステージ発表でしたが、どの学級も築き上げてきた学級文化がしっかりと伝わる学級発表でした。昨年度に引き続き、思うように練習ができなかったりマスク着用のため歌いにくかったりしたと思います。その中で、生徒たちは工夫し最大限のパフォーマンスを目指し、互いの思いを深め合った取組は、個人としても学級集団としても大きく成長したことを確信します。

## 多中生のがんばり ～ 受賞・入賞 おめでとう ～

【税に関する作文】

多治見税務署長賞	東濃県税事務所長賞
東濃西部納税貯蓄組合 連合会長賞	多治見税務 連絡協議会長賞
多治見市長賞	多治見市教育長賞
金賞	金賞

【多治見市 家族の約束十二か条 「三行詩」コンクール】

中学生の部 最優秀賞	ありがとう つたえることに いみがある
中学生の部 入選	反抗期 その時過ぎると 反省期「ごめんなさい」そして「ありがとう」

【多治見市中学生人権標語コンテスト】

入選	入選
入選	入選
入選	

【中学生学校給食選手権（ふるさと岐阜の学校給食）】

ふるさと自慢献立賞 多治見中学校 家庭科部  
（東濃地区代表）

【第20回 とうしん中学生イラストコンテスト】

努力賞 努力賞

【みんな違って おもしろい ぼくの絵 わたしの絵 絵画コンクール 2021】

中学生の部 優秀賞

12～1月の主な行事予定 【日程や実施方法が変更される可能性があります。】

<12月>

11月29日(月)～3日(金) 三者懇談、45分短縮日課

6日(月)～10日(金) ひびきあい週間(ひびきあい活動)

6日(月) 学習学活「自分たちから創りあげる最高の授業」

7日(火) 不審者対応訓練(朝活動)

9日(木) 2年生 職業講話【職場体験学習からの変更】

13日(月) 45分短縮日課

15日(水) 45分短縮日課、ハイパーQu

16日(木) PTA実行委員会・役員推薦委員会19:30

17日(金) 生徒会・委員会

21日(火) 45分短縮日課、さわやか点検、

掃除なし、教科L会

22日(水) 生徒集会

24日(金) 冬休み前全校集会

25日(土)～ 冬休み

※ 12月の学費等の引き落としは、10日(金)。

●「毎月の給食費・学費・研修費等」については、当初の予定通り「1月」まで引き落としさせていただきます、  
「2月 調整月」とさせていただきます。

<1月>

～1月7日(金) 冬休み

1月7日(金) 多治見市連合生徒会交流会 9:00 駅北庁舎

10日(月) 成人の日

11日(火) 冬休み明け全校集会、5期(～3/25)

書き初め交流・審査

12日(水) 3年生 実力テスト、生徒会・委員会

13日(木) 3年生 期末テスト①(4教科)

14日(金) 3年生 期末テスト②(3教科)

17日(月)～ 大一番活動開始、45分短縮日課

19日(水) PTA 広報委員会 19:00

20日(木) PTA 実行委員会・役員推薦委員会 19:30

23日(日) 第4回資源回収(収集場担当:2年生)  
予備日:1/30(日)

24日(月) 中学校説明会<新1年生保護者>

26日(水) 1年生 職業講話

27日(木) 全校研究会<1年生 社会>

※ 1月の学費等の引き落としは、11日(火)。

ひびきあい活動(12/6～12/10)について

12月10日に、世界人権宣言が国連で採択されたことを記念して、12月4日～10日を入権週間と定めています。岐阜県でも人権教育を推進するために、この期間の前後に「ひびきあいの日」として活動してきました。この取組をさらに充実させるために、「ひびきあい活動」と名称変更されました。

多治見中学校では、これまでも「挨拶で絆の日」や生徒会の「認め合いポスト」などの取組で他者との関わりを大切にする活動を行ってきました。今年度の多治見中学校の「ひびきあい週間(ひびきあい活動)」を、12月6日(月)～10日(金)に設定し、人権意識を高めたり、いじめに対する意識を高めたりしていきます。

また、「あったかい言葉かけ県民運動」へも参加していきます。

【親育ちコーナー】 つなぐ

子ども支援課

親育ち4・3・6・3たじみプランでは、妊娠中から中学生までの成長段階に応じて、様々な支援を行っています。今回は、園児をもつ保護者を支援する子ども支援課からの紹介です。

長い間続いた新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動自粛。ソーシャルディスタンスを保つため、学校だけでなく、幼稚園、保育園でも例年通りの参観日や親子行事を行うことが難しく、「我が子の園での姿を捉えづらい」などのご意見をいただくこともありました。保護者同士、保護者と園が話せる機会が以前よりも減り、特に就学を控えた年長組の保護者にとっては、より不安が大きかったと思います。

そこで、ある園では保護者会で事前に就学に向けて不安に感じていることなどを意見集約した上で、就学先の校長先生を招き、回答したところ、「就学への不安が和いだ」「親子ともに安心して就学に向かうことができそう」など、自分が知りたい情報を得ることができ、安心につながることができたとの感想が多くありました。

徐々に通常の生活を取り戻しつつありますが、すべてが元通りになるにはまだまだ時間がかかりそうです。家庭と園との連携を深めるとともに、子どもにかかわる様々な機関と「つなげる」役割が今まで以上に重要であると感じています。